

平成24年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
2項 工鉦業費
2目 中小企業振興費

産業振興総室[産学金官連携室](内線:7663)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源	
EV人材育成カリキュラム開発事業	5,123	10,265	△5,142				5,123	
トータルコスト	7,537千円(前年度 12,661千円)[正職員:0.3人]							
主な業務内容	カリキュラム業務委託の管理、調整 など							
工程表の政策目標(指標)	産学金官連携の体制づくり及び県補助制度による企業支援の強化:産学金官連携及び県補助制度による事業化(H24年度:事業化件数4件)							

説明

1 事業の概要

産学官が連携して電気自動車(EV)に関する人材育成カリキュラムを開発し、EV及びその周辺産業、EVを取り巻く社会的背景に関する基礎的な知識を持ち、EV製造企業及びEV関連の部材製造企業において将来中心的な役割を担うことのできる研究者・技術者を育成することにより、県内電気自動車関連産業の集積を促進する。

2 事業内容

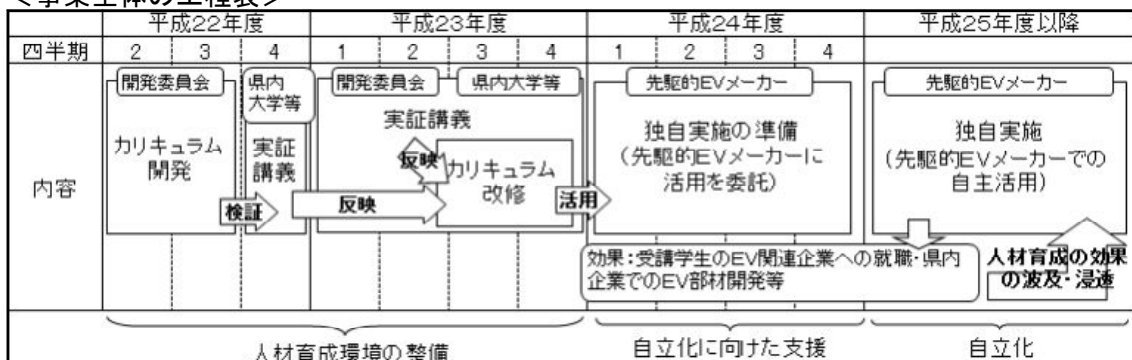
平成25年度以降の県内EV人材の育成に向けて、先駆的EVメーカーに下記業務内容を委託する。(5,123千円)

- (1) EV人材育成カリキュラムの改修
開発したカリキュラムをより実践的かつ応用的な内容に改修する。
- (2) 講義の実施
カリキュラムを活用してEVについて実践的かつ応用的な知識・技術を持った人材を育成するため、県内教育機関の学生を対象に講義を行う。
- (3) 評価委員会の開催
改修を行ったカリキュラムを評価するため、鳥取県EV人材育成カリキュラム開発機関等の有識者からなる評価委員会を開催し、カリキュラムを評価する。

○事業の流れ

- ・平成22年度 カリキュラムの開発、導入講義の実施
- ・平成23年度 実証講義カリキュラムの改修、実証講義の実施、カリキュラムの完成
- ・平成24年度 平成25年度以降の県内EV人材の育成に向けて先駆的EVメーカーにカリキュラムの改修等を委託
- ・平成25年度以降 先駆的EVメーカーでの独自実施(県内EV人材の育成)

<事業全体の工程表>



3 これまでの取組状況、改善点

- ・平成22年度、鳥取県EV人材育成カリキュラム開発委員会を開催し、カリキュラム開発について内容、委託先等を協議し、カリキュラムを作成した。
- ・平成22、23年度、県内高等教育機関で学生を対象に作成したカリキュラムの検証のための20コマ分の実証講義を行い、検証の結果等に基づきカリキュラムを改修した。
- ・EV関連産業の振興を図るため、先駆的EV開発を推進する企業の代表による講演や、大学関係者等によるパネルディスカッションを実施した。